

# 業務状況説明書

(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)



富士見市下水道事業

## 1 令和6年度下半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 業務

令和6年度末における水洗便所化人口は、111,203人で、前年度末に比べ94人の増加となっています。

1日平均処理水量は2,564 m<sup>3</sup>の増加、有収水量は10,751 m<sup>3</sup>の増加となっています。

区 分 \ 年 度	令和6年度 (年度末)	令和5年度 (年度末)	比 較	
			増 減	増減率(%)
水洗便所化人口(人)	111,203	111,109	94	0.08
1日平均処理水量(m <sup>3</sup> )	34,611	32,047	2,564	8.00
有 収 水 量(m <sup>3</sup> )	10,479,707	10,468,956	10,751	0.10

#### イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、管渠更生工事を単独事業として707.5m、管渠布設替工事を単独事業として15.1m、管渠築造工事としましては、柳瀬第9処理分区(大字水子地内)を単独事業として33.6mを実施しております。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第12-2-2処理分区(大字鶴馬地内)及び新河岸第16-1-1処理分区(大字水子地内)を単独事業として367m管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、浸水被害軽減や施設の延命化等を目的に別所雨水ポンプ場更新工事等を引き続き進めてまいりました。

なお、公共下水道管渠調査業務委託(その2)、下水道施設改築・修繕工事(その1)及び(その2)、汚水管渠布設替工事、新河岸第16-1-1汚水管渠築造工事につきましては、材料の調達や施工に時間を要したことなどから、令和7年度に繰越をいたしました。

また、出口ポンプ場更新工事監理業務委託、出口ポンプ場更新工事、桜井雨水ポンプ場更新工事につきましては、債務負担行為の設定による2か年継続事業となっており、初年度事業費を令和7年度に繰越をいたしました。

## (2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

## ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,830,441	920,663	924,625	1,845,288	100.81
	営業収益	1,381,893	864,787	522,400	1,387,187	100.38
	営業外収益	448,547	54,936	401,199	456,135	101.69
	特別利益	1	940	1,026	1,966	196600.00
支出	事業費	1,699,372	292,965	1,350,473	1,643,438	96.71
	営業費用	1,617,191	255,591	1,316,217	1,571,808	97.19
	営業外費用	81,131	37,083	34,254	71,337	87.93
	特別損失	550	291	2	293	53.27
	予備費	500	0	0	0	—

## イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	1,456,770	32,581	798,737	831,318	57.07
	企業債	1,197,000	0	570,000	570,000	47.62
	国庫(県)補助金	218,471	0	217,444	217,444	99.53
	負担金	41,299	32,581	11,293	43,874	106.24
支出	資本的支出	2,173,183	1,217,971	347,073	1,565,044	72.02
	建設改良費	1,628,948	937,918	93,492	1,031,410	63.32
	企業債償還金	543,235	280,053	253,581	533,634	98.23
	予備費	1,000	0	0	0	—

## 2 令和7年度予算の概要

### (1) 予算編成概要

下水道事業の主たる収益である使用料収入は前年度と同水準と見込んでいます。しかしながら、長期的には人口の減少等により使用料収入の減少が懸念され、今後増大する老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する災害への対応に費用が必要となることが見込まれます。

令和7年度の公共下水道事業については、施設の老朽化対策として、管路施設に関わる既存のストックマネジメント計画の更新のほか、管渠の更生や修繕工事、雨水ポンプ場の更新工事等に取り組みます。また、浸水対策として、大雨時に針ヶ谷地区の雨水を柳瀬川へ強制排水するため、新たな雨水ポンプ場整備の事業化を目指します。そのほか、地震対策として、総合地震計画に基づく、緊急輸送道路や鉄道を横断する雨水管の耐震診断調査を実施します。

今後も安全・安心の確保と快適な生活環境・水環境の向上、下水道事業の持続に資するため、施設の計画的な整備と維持管理に努め、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成しました。

### (2) 業務の予定量

年度 区分	令和7年度	令和6年度	増減
年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	13,006,000	13,049,000	△43,000
水洗化世帯戸数 (戸)	57,065	57,465	△400

### (3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は前年度比4.1%増の19億623万7千円、支出は前年度比9.7%増の18億6,365万6千円で、収支差引で4,258万1千円の黒字を見込んでいます。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は前年度比19.4%減の7億3,354万2千円、支出は前年度比16.0%減の13億4,942万5千円となり、収支差引では6億1,588万3千円の赤字が見込まれますが、この赤字分については、損益勘定留保資金等で補填するものとしております。

## (4) 収入支出明細書

## 収 益 的 収 入 及 び 支 出

## 収 入

(単位：千円)

款	目	予 定 額	備 考
項			
下水道事業収益		1,906,237	
営業収益		1,410,556	
	下水道使用料	1,022,310	下水道使用料の予定額を計上
	他会計負担金	388,086	汚水及び雨水処理負担金等の予定額を計上
	その他の営業収益	160	下水道指定工事店指定手数料等の予定額を計上
営業外収益		495,680	
	受取利息	295	定期・預金利息の予定額を計上
	他会計補助金	100,440	一般会計からの補助金の予定額を計上
	補助金	18,150	下水道施設の維持管理に対する国庫補助金の予定額を計上
	長期前受金戻入	367,716	長期前受金の戻入予定額を計上
	雑収益	1,796	勝瀬原調整池及び桜井雨水幹線占用料等の予定額を計上
	消費税及び地方消費税還付金	7,283	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
特別利益		1	
	過年度損益修正益	1	過年度損益修正益を計上

## 支 出

(単位：千円)

款	目	予 定 額	備 考
項			
下水道事業費用		1,863,656	
営業費用		1,775,300	
	管渠費	739,297	管渠の維持管理に要する経費を計上
	業務費	64,947	使用料の徴収業務等に要する経費を計上
	総係費	57,522	下水道事業の総括的経費を計上
	水洗化促進費	265	水洗化促進に要する経費を計上
	減価償却費	885,950	固定資産の減価償却費を計上
	資産減耗費	27,319	固定資産除却費を計上
営業外費用		87,306	
	支払利息	86,806	企業債及び一時借入金の利子を計上
	雑支出	500	過誤納に伴う還付金等(過年度分)を計上
特別損失		550	
	過年度損益修正損	550	過年度損益修正損を計上
予備費		500	
	予備費	500	

## 資 本 的 収 入 及 び 支 出

### 収 入

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入		733,542	
企 業 債		684,200	
	企 業 債	684,200	下水道施設の建設に対する企業債の予定額を計上
国庫(県)補助金		7,500	
	国庫(県)補助金	7,500	下水道施設の建設に対する国庫補助金の予定額を計上
負 担 金		41,842	
	負 担 金	41,842	受益者負担金及び一般会計負担金等の予定額を計上

### 支 出

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出		1,349,425	
建 設 改 良 費		858,952	
	建 設 総 係 費	98,736	下水道建設事業に要する事務費を計上
	公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	559,951	公共下水道の建設に要する経費を計上
	特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	64,666	特定環境保全公共下水道の建設に要する経費を計上
	流 域 下 水 道 事 業 費	135,599	流域下水道事業建設負担金を計上
償 還 金		489,473	
	企 業 債 償 還 金	489,473	企業債元金の償還金を計上
予 備 費		1,000	
	予 備 費	1,000	